

予算特別委員会

予算特別委員会委員

◎…委員長 ○…副委員長

- ◎頭山 太郎 ○大沢 純一 ○山本 洋輔 くぼた 学
- わたなべ忠司 瀬 順弘 対馬ふみあき 桑川 敏男
- 松本 マキ 松本あきひろ 江口 元気 門倉 正子
- 山本みちよ 伊藤 大輔 稲橋ゆみ子 中町 聡
- 若木 早苗 永元須摩子 上條 彰一 須崎 八朗
- 伊藤 幸秀 佐藤 寿宏

(※議長、副議長、及び代表質問を行った4名を除く全議員)

5日間にわたり審査を行い、令和3年度一般会計予算を賛成多数で、その他の特別会計予算、下水道事業会計予算、関連条例の改正・廃止については全会一致で、可決すべきものと決しました。

一般会計は、平成29年度以来4年ぶりの減額予算となりました。限られた予算の使い道について、活発な議論が行われました。



頭山太郎委員長

がん対策

カーボンドットの調査を

佐藤 寿宏 (たちかわ自民党・安進会)



問 がんて亡くなる方が、周囲にも大勢います。禁煙したり、お酒を控えたり、食事に注意するなどしても、それでもがんになります。現在、がんの治療法として国に認められている抗がん剤治療は、髪の毛が抜けるなど苦しみを伴います。もっと新たな方法が必要と考えます。その方法と考えられるカーボンドットの飲用は、これまで臨床治験も行われてきています。がんになった市民が助かる方策として、ぜひ調査していただきたいと考えるが、見解を。

答 生活習慣を改める意識と実践が、がんについても予防の効果があると考えています。また、定期的に検診を受けることで早期発見をすることができます。これを基本に健康づくりを推進しています。治療に関する新たな方法については、市で分析することは難しい点もありますが、国や専門機関の動向を注視し、市民の健康につながるものについて、情報収集や実践に努めていきたいと考えています。

予算特別委員会での主な質問項目

▷市施設における次亜塩素酸の取り扱い ▷入札契約制度改革 ▷がん対策

就職氷河期世代の就労支援

企業とのマッチングが重要

わたなべ 忠司 (民主・市民フォーラム)



問 昨年11月から始まった就職氷河期世代の就労支援は、どのような事業者がどのような支援を行っているのか。また、雇用側とのマッチングはどのように行っているのか。就職氷河期世代の支援対象者の状況を理解した上で、就職につなげるマッチングが非常に重要です。この事業へのニーズは今後も増えると思われるが、支援対象者のメンタル面のフォローや雇用側とのマッチングについて、どう取り組んでいくのか伺います。

答 事業は、若年者の就労支援で実績のある認定NPO法人が運営し、職歴や現在の状況、本人の希望等を聞いた上で、その方に合った支援をしています。第三者評価委員会を設置し、市内事業者の代表から意見を伺っています。また、その方のスキルを生かせるよう考慮して進めています。離職中でブランクがある方も多く、生活習慣の見直しやメンタル面のサポートもしながら、丁寧な支援を行ってまいります。

予算特別委員会での主な質問項目

▷シティプロモーション推進 ▷地域の安全・安心推進 ▷市税等のキャッシュレス決済 ▷母子家庭等就業支援 ▷AIによる保育所入所審査 ▷居住支援 ▷放課後の居場所づくり

主な質疑項目

一般会計

総務費	農林費
シティプロモーションの推進 地域の安全・安心推進 マイナンバーカードの普及状況 自治会の支援 市税等のキャッシュレス決済導入 DV相談の増加 投票率向上と期日前投票所	立川産農産物のブランド化 みのーれ立川
民生費	商工費
コロナ禍の困窮者対策 ひとり親家庭の支援 AIシステムによる保育所入所審査 学童保育所の待機児童解消 住居確保給付金の支援強化 児童虐待 家庭問題などの相談支援	MICE事業 商店街支援
衛生費	土木費
PCR検査の状況 温室効果ガスの排出量 ごみの減量とリサイクル 胃がん検診の内視鏡検査導入 粗大ごみのインターネット受付 産後ケアサービスの利用状況	立川駅ホームドア設置 空き家対策 根川緑道改修工事 民間住宅の耐震化促進 富士見橋の補修工事 市営住宅の管理運営
労働費	消防費
就職氷河期世代支援	避難所の運営、備蓄品
	教育費
	放課後子ども教室の拡充 新学校給食共同調理場整備 立川市民科の教科化 学校事務のIT化 児童・生徒への通訳支援 屋外体育施設の管理運営

災害時のアレルギー対応

避難所運営マニュアルに記載を

須崎 八朗



問 地域防災計画には、アレルギーに対応した備蓄品等の種類の増加や質の向上を図るとありますが、避難所運営マニュアルにアレルギー対応についての記載はありません。この件について、他の議員が議会で質問した際の答弁は、内部で検討中とのことでした。検討内容を伺います。重度のアレルギーは命に関わる可能性もあり、アレルギー対応についての考えを市民に周知し、避難所運営マニュアルにも記載すべきと考えますが、見解を。

答 備蓄品のアレルギー対応については、現在検討を進めています。主な備蓄品である50食分の大量調理用アルファ化米は、アレルギー対応のものを各避難所で備蓄することが難しいと考えています。今後、新学校給食共同調理場が整備された際に、アレルギー対応のアルファ化米を導入し、そこからの配送を考えています。まずは、このような検討を行っていることを周知し、マニュアルにも加えていきたい。

予算特別委員会での主な質問項目

▷市税、保険料等の減免 ▷新電力導入への取り組み ▷姉妹市への派遣高校生交換事業 ▷都市農地保全

特別会計

競輪事業	インターネットによる車券販売 ミッドナイト競輪・モーニング競輪
国民健康保険事業	保険料の据え置き マイナンバーカードと保険証の一体化
介護保険事業	介護人材の処遇改善 在宅医療の介護連携 介護事業所への応援給付金 地域包括ケアシステムの充実